

神奈川県福祉保健センターと
神奈川県社会福祉協議会の連絡先一覧

| | 内 容 | 問合せ先 | FAX番号 |
|-------------|--|-----------------------------|-----------|
| サービス課 | 高齢者の保健と福祉の相談・介護保険の利用について | 福祉保健相談係 ☎411-7098 | ☎324-3702 |
| | 生活保護に関する相談 | 保護担当 ☎411-7103・7107 | |
| | 障害者在宅サービス、支援費制度、精神保健福祉、難病に関する相談 | 障害者支援担当 ☎411-7114・7115 | |
| | 出産、子育て支援、育児相談、児童手当、児童扶養手当 | 子ども家庭支援担当 ☎411-7111～7113 | |
| | 保育所に関すること | 保育担当 ☎411-7157 | |
| 保険年金課 | 国民年金に関すること | 国民年金係 ☎411-7121 | ☎322-1979 |
| | 国民健康保険、介護保険の資格・保険料について、老人保健、75歳以上の方の健康手帳と長寿のしおり、小児医療費助成 | 保険係 ☎411-7124 | |
| 生活衛生課 | 新築住宅の屋内空気、害虫などの環境衛生について | 環境衛生係 ☎411-7143 | ☎411-7039 |
| | 食べ物、飲み水などの食品衛生、犬の適正飼育 | 食品衛生係 ☎411-7141 | |
| 福祉保健課 | 民生委員・児童委員、保健活動推進員などの福祉保健団体に関すること | 運営係 ☎411-7131～7134 | ☎316-7877 |
| | 生活習慣病予防事業、健康づくり事業、基本健康診査、栄養改善、がん検診、感染症対策、歯科保健、予防接種 | 健康づくり係 ☎411-7138・7139 | |
| | ふれあい訪問、地域福祉保健計画 | 事業企画係 ☎411-7135～7137 | |
| 神奈川県社会福祉協議会 | ● ボランティア活動に関する相談、受付、調整 ● 要援助の高齢者・障害者の送迎サービス ● 子育てサポートシステム ● 地区社協の食事会・ミニデイサービス等の活動支援 | 区社会福祉協議会 ☎311-2014 | ☎313-2420 |

神奈川県 地域福祉保健計画

発行：神奈川県地域福祉保健計画策定委員会
 神奈川県福祉保健センター 福祉保健課 事業企画係
 ☎045-411-7136 ☎045-316-7877
 〒221-0824 横浜市神奈川区広台太田町3-8
 平成17年3月発行 横浜市広報印刷物登録第170025号 類別・分類B-QA021
 デザイン：株式会社オールスタッフ

これからも住み続けたい神奈川区にするために

神奈川県 地域福祉保健計画



「神奈川区 地域福祉保健計画に寄せて」

平成15年から検討してきた地域福祉保健計画が、関係団体懇談会・区民意識調査などを集約して完成しました。多くの意見・課題などがあり、すべてを網羅することはできませんでしたが、ほぼ盛り込まれたことと思います。今後はこの計画を区民と行政が協働し、実行することが重要です。これからも、住みよい神奈川区になるように期待しています。

高木 副策定委員長

日ごろの診療で、高齢者が増えたことを実感しています。在宅ケアを支えるために、神奈川区医師会もこの目標を参考にして医療のネットワーク作りを進めます。地域の皆さんが安心して医療を受けられる体制を充実していきます。健康に関する相談は、ご遠慮なくお近くの診療所や区医師会へご相談ください。

堀内 副策定委員長

私たちの神奈川区は、ふれあい・支えあいの風土が息づく素晴らしいまちです。ここに暮らす誰もが健康で、いきいきと安心して生活し、「これからも住み続けたい」と思うことができるように、今回、神奈川区地域福祉保健計画を策定し、今後の福祉と保健の取り組みの方向性を決めました。

神奈川区では、「協働を基本とした区政運営」を大きな柱の一つに位置づけています。これからも、健康づくりや、子育て支援、高齢者・障害者のための福祉活動などのさまざまな取り組みを推進してまいりますので、ぜひ一人でも多くの方にこの計画をお読みいただき、活動に参加していただけるようお願いしております。

本計画の策定にあたり、貴重なご意見と多大な御尽力をいただいた策定委員の方々をはじめ、多くのご意見をお寄せいただいた区民ならびに関係団体の皆様に、心から御礼申し上げます。

平成17年3月
神奈川区長 福井 富夫

目次

| | |
|----------------------------------|-----|
| これからも住み続けたい 神奈川区にするために | 2 |
| 神奈川区地域福祉保健計画策定・推進の流れ | 5 |
| 神奈川区地域福祉保健計画 「5つの基本目標」と「21の個別目標」 | 6 |
| 基本目標1 | 7 |
| 基本目標2 | 9 |
| 基本目標3 | 11 |
| 基本目標4 | 13 |
| 基本目標5 | 15 |
| 始めよう!みんなで第一歩 | 17 |
| 資料:かめ太郎クイズの答え | 19 |
| 策定委員紹介 | 21 |
| 連絡先一覧 | 裏表紙 |

これからも住み続けたい 神奈川区にするために

神奈川区地域福祉保健計画とは?

～はじめに～

「住み慣れた地域で、安心して、心豊かに、いきいきと暮らす」これは、私たちみんなの願いです。

私たちの地域では、さまざまな人たちが暮らしています。

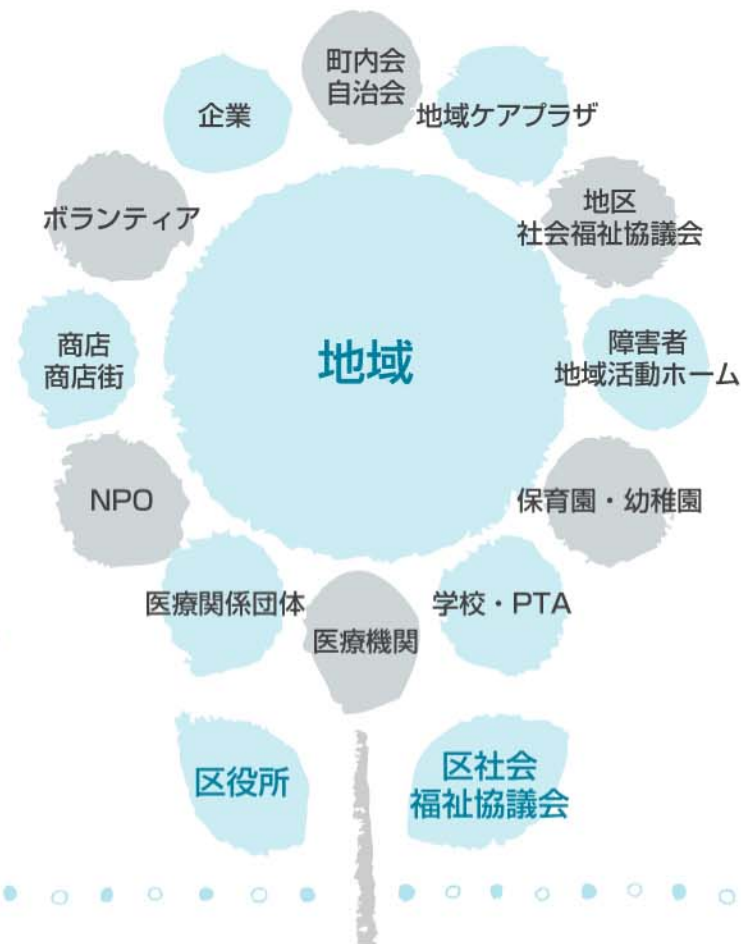
人が生まれ、育ち、学び、働き、歳を重ね、多くの人と出会い、ふれあっています。性別、年齢、職業、文化、国籍、さまざまな違いを尊重しつつ、対等な人間として、この地域で共に生きています。

それぞれ、生活の中で悩みや困りごとを抱えたときに、身近に悩みを聞いてくれる人がいて、相談できる場所があり、解決に向けて共に考え協力してくれる人がいて、活用できるサービスがあれば、どんなに心強いでしょう。

そのためには、同じ地域で暮らす人が、日頃からお互いのことを知り、人と人とのつながりを大切にして、支えたり、支えられたりできるような関係を作っていくことが大切です。

そのような地域の支えあいのしくみづくりを進める基本的な枠組みが、「地域福祉保健計画」です。

私たちが住む「地域」の10年後、20年後を、希望を持って語り合しましょう。そうした「地域」を実現するために、共に、できることから始めてみませんか。



なぜ、今、地域福祉保健計画？

～計画策定の背景～



現在、日本は、他の先進諸国に類を見ない速さで少子高齢社会を迎えており、平均寿命が伸び、年々高齢者人口の割合が増え続けています。家族形態や就労形態などの変化や、一人ひとりの価値観の多様化、地域の間関係の希薄化など、地域をとりまく状況は、大きく変化しています。また長寿社会の一方で、生活習慣病やその予備軍が増加し、健康を保ちいきいきと暮らすことへの感心が高まっています。

このような状況の中で、地域でどのようにしたら安心して健康で心豊かな生活を送ることができるのか、住民の期待や不安は大きくなっています。さらに一人ひとりの住民が求めるサービスは多様化し、より身近なサービスのしくみが求められています。

近所同士や自治会・町内会の取り組みなどが大きな力となっている地域があります。また、新しい活動を展開する民間の事業者やNPO等が、地域で重要な役割を果たしつつあります。このような支えあい、助け合いの中から生まれるサービスと、行政によるサービスとが互いに連携していくことによって、よりきめ細やかで、充実した地域での支援のしくみが作られます。行政が必要なサービス提供の基盤を整備するだけでなく、身近な支えあいや助け合いがあって、地域の福祉の充実が実現されていきます。行政の役割を検討すると共に、地域での支えあいや住民相互の助け合いの大切さを再認識し、地域課題に密着した福祉保健の取り組みを充実していくこと、それが『地域福祉』です。

このような『地域福祉』を推進していくためには、私たちが住む「まち」の10年後、20年後を見据えながら「今、自分たちがしていること」、「これから自分たちができること」を、住民と行政とが一緒に考えていくことが必要です。地域住民と行政との「協働」によって、地域福祉が推進され、誰もが暮らしやすい地域が築きあげられていきます。

そこで、地域の福祉・保健の課題、困りごとなどについて、「地域で解決できるしくみづくり」を話し合い、地域と行政との協働で「地域福祉保健計画」を作り、推進していくことにしました。



子育て支援事業（新子安）

※NPO…[Non-Profit Organization]
非営利組織。政府や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う、組織・団体。

共につくり、共に進める

～神奈川県地域福祉保健計画の特徴～



神奈川県には、約22万人が暮らしています。

平成16年2月に実施した区民意識調査では、約70%の人たちが「今の地域に住み続けたい」と答えています。

この70%の人たちがこれからも住み続けたいと思い、さらに多くの人たちに「神奈川県に住んでいてよかった」と思ってもらえるような地域を築くために、次のような視点で計画を策定しました。

1.地域に密着した具体的な意見や課題の収集

この計画は、「地域の声」をたくさん集めることから始めました。

中学生から高齢者まで、さまざまな方に集まっていた地区懇談会や、地域で活躍されているいろいろな団体との懇談会で、数多くの意見をいただきました。さらに、区民意識調査の中で健康づくりに関する実態把握を行いました。

2.具体的に「神奈川県の将来像」が描けるようなわかりやすい表現

地区懇談会、関係団体懇談会、区民意識調査などで出された意見やデータをもとに、「みんなが描く神奈川県の目指すべき姿」を5つの基本目標にまとめました。

3.基本目標の具体的なイメージである「21の個別目標」の提案

5つの基本目標に近づくための「21の個別目標」を立て、それを活用して、「今、自分たちがしていること、これから自分たちができること」を確認していけるようにしました。この21の目標のどこからでも、取り組みをスタートすることができます。

●これからも住み続けたい神奈川県にするために

7ページ以降にそれぞれの基本目標、個別目標の元になった地域の声と、現在すでに展開されている活動やあったらいいなという活動を掲載しました。また、この冊子は「地域」を身近に感じたことのない人に少しでも関心を持ってもらえるよう編集しました。

この冊子をもとに、地域や各活動団体、行政が、それぞれ互いの役割やこれまでの活動をもう一度見つめなおし、互いに連携し、これから必要なこと、できることに取り組んでいきましょう。



みんなで運動会（菅田）



すくすく子がめ隊（白幡）

神奈川県地域福祉保健計画 策定・推進の流れ



神奈川県地域福祉保健計画 「5つの基本目標」と「21の個別目標」

地区懇談会、関係団体懇談会、区民意識調査などで出された意見やデータをもとに、「みんなが描く神奈川区の目指すべき姿」を「5つの基本目標」にまとめました。さらに、「5つの基本目標」に近づくための「21の個別目標」を設定しました。

基本目標1 あなたもわたしも地域の一員です

1. 隣近所が顔見知りで、声をかけあう関係ができています
2. 一人ひとりが地域の一員としての自覚を持ち、地域の活動に参加しています
3. みんなが支えあいの中で生活し、日々の行動が支えあいにつながっています
4. 地域への関心を持ち、生活のマナー・モラルが向上しています
5. みんなが常に安全と環境について関心を持って行動しています

基本目標2 支えあいのしくみや組織が活きています

6. 地域の活動を支えるしくみや組織が充実しています
7. 一人ひとりのできることが活かされるしくみになっています
8. 地域の活動を支援するたくさんの団体があります
9. 商店街や事業者など企業が地域での活動に参加しています
10. 学校、福祉関連施設などが地域と連携しています

基本目標3 教えあい学びあって成長しています

11. 地域の中に、地域をまとめる人、相談できる人が育っています
12. 次代を担う人がいろいろな活動に積極的に参加しています
13. みんなで教えあい学びあって、地域の生活文化が育まれています

基本目標4 いつでもどこでも必要な情報が利用できます

14. サービスを利用するための必要な情報が蓄えられています
15. だれもが利用しやすい情報伝達のしくみがあります
16. お互いの立場を尊重しながら情報が交換され、地域の課題が共有されています

基本目標5 一人ひとりにあった十分なサービスがあります

17. 必要な人が仲間と出会える機会があります
18. 困ったときに身近に相談できる人や場所があります
19. 地域の活動グループがお互いに連携しています
20. だれもが利用できる場所が確保されています
21. 自分にあったサービスを選べます

かめ太郎クイズ

神奈川区のマスコット「かめ太郎」から、神奈川区のなるほどクイズを出すよ。いくつ正解できるかな? (答えは19、20ページの資料を見てね)

あなたもわたしも地域の「一員」です

地域の声

路上の違法駐輪・駐車があり、安全に歩けない

ちょっとしたことを手伝って欲しくても、近隣とのつながりがないと頼めない

ペットの飼い方やごみ出しのマナーを守らない人がいて困る

近隣とコミュニケーションが取れる関係作りが必要

顔見知りを増やして地域を活性化したい

困っている人に手助けしたくても、支援を求めている人がどこにいるのかさえわからない

障害のある子どもと外出するとき、地域で声をかけてくれる人がいるとうれしい

基本目標を達成するための「21の個別目標」

- 1 隣近所が顔見知りで、声をかけあう関係ができています
- 2 一人ひとりが地域の「一員」としての自覚を持ち、地域の活動に参加しています
- 3 みんなが支えあいの中で生活し、日々の行動が支えあいにつながっています
- 4 地域への関心を持ち、生活のマナー・モラルが向上しています
- 5 みんなが常に安全と環境について関心を持って行動しています



▲反町地区懇談会の様子

始めよう！ みんなで第一歩

現在行なわれている取り組みや、今後進められる取り組み、「あったらいいな」という地域の声の一部をご紹介します。今後の活動のヒントがいっぱい！

「取り組み紹介」

★…地域での取り組み ◆…区役所での取り組み

- ★ ある地域では、障害者グループホーム、地域作業所、ボランティア、地域ケアプラザ、地区センターなどが一緒になって運動会を行い、子どもも大人も、障害のある人もない人もみんなで楽しんでいます。
- ★ 保育園では高齢者とのふれあいを求めて、散歩のときに声をかけるようにしています。
- ★ 高齢者会食会に地域の子どもも参加しました。それをきっかけに、「近所の子どもがあいさつをしてくれるようになった」と高齢者からとても喜ばれています。
- ★ 避難訓練のとき、車椅子体験をしている地域があります。
- ★ あるまちでは夏祭りや餅つきを子ども会と一緒にやっています。
- ★ 町内の防犯の見回りをしながら、ごみ集積所のごみ出しルールの状況も確認しています。
- ★ 講演会で新潟中越地震被災者の声を聞き、そこから学んだ防災についての知恵を地域で活かそうとしているところがあります。
- ★ 高齢者の食事会に、子ども会、生徒会の役員も協力しています。
- ◆ 障害者の防災支援ハンドブックを作りました。地域の防災訓練にも障害者の参加を呼びかけていきます。（障害者地域サポートネットワーク事業：障害者支援担当）
- ◆ 犬の適正飼育を啓発するボランティアを育成し、人とペットの幸せな共生を支援します。（犬の適正飼育啓発事業：食品衛生係）

「あったらいいな」

道路の段差など、すぐに直せない場合には、みんなが安全に通れるわき道を確保できないかな。物を置かないようにしたり、掃除したり。明るくしたり…。

犬の散歩のとき、防犯パトロールも兼ねてできるんじゃないかな。

災害時の緊急連絡先や避難場所のことはみんな意外と知らない。老人会で話し合って、確認し合いたい。

かめ太郎クイズ①

【問題】神奈川区の人口は約22万人。同じくらいの人口はどこでしょう？

- ①墨田区 ②ニューカレドニア ③茅ヶ崎市

答え p19

かめ太郎クイズ②

【問題】神奈川区で昨年1年間に生まれた赤ちゃんの数は何人でしょう？

- ①約1万人 ②約5,000人 ③約2,000人

答え p19

地域の中に支えあいを行なう組織があり、充実した活動ができるまち。いろいろな人が活躍できるしくみができていて、みんながわくわく協力し合いながら活動に参加しているまちをつくりまします。

支えあいのしくみや組織が活きています

地域の声

町内会も老人クラブも加入率が下がっている



安心してボランティアができるよう、ボランティア保険の加入などの整備も必要



地域の活動に中学生、高校生にも参加して欲しいが、どう働きかければよいのだろう



学校と地域がもっと連携できれば...

地元企業や大学と地域が協力し合えることはないか



これといったとりえはないけど、誰かの手助けができればと思う。でも、どうすれば良いかわからない



地域の防災力を高めたいが、催しをしても参加してくれる人が少ない

基本目標を達成するための「21の個別目標」

- 6 地域の活動を支えるしくみや組織が充実しています
- 7 一人ひとりのできることが活かされるしくみになっています
- 8 地域の活動を支援するたくさんの団体があります
- 9 商店街や事業者など企業が地域での活動に参加しています
- 10 学校、福祉関連施設などが地域と連携しています



▲三ツ沢地区懇談会の様子

始めよう! みんなで第一歩

「取り組み紹介」

★...地域での取り組み ◆...区役所での取り組み ♥...区社会福祉協議会での取り組み

- ★ 地区懇談会の中で、「自分が手伝えること」が話題になり、実際に「ちょっとしたボランティア」の活動が始まりました。
- ★ ある障害者の地域作業所では、駅周辺の清掃を行なっています。地域の人に声をかけてもらえるようになり、地域とのふれあいが深まりました。
- ★ 地域、企業、商店、郵便局、地域ケアプラザなどが協力して地域の祭りに取り組み、地域の活性化を図っているところがあります。
- ★ ある団地では、定期清掃の日に、掃除に参加できなかった高齢者に声かけをして、様子を聞くようにしています。
- ★ ある団地では、入居者が高齢化したため、団地内の車椅子体験を実施し、「車椅子通行マップ」を作りました。またこの取り組みを知って、ある「地域支えあい連絡会」では、議題にとりあげ検討し、みんなで近所の道路状況を確認することにしました。
- ★ 地域の子育て支援団体(すくすく子がめ隊)と保育園の交流をしているところがあります。
- ◆ 家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、毎週趣味や体操を行なう、介護予防の会の活動を支援しています。(介護予防型デイサービス：高齢者支援担当)
- ◆ 子育てに関連する組織やグループの代表が集まり、地域の子育て支援を検討しています。(親がめ会議：子ども家庭支援担当)
- ◆ 障害者の社会参加を促進するために、地域作業所の新業種の開拓を支援していきます。(障害者の地域サポートの充実：障害者支援担当)
- ◆ 増えるひとり暮らし高齢者、高齢者世帯等を見守るために、地域の人による訪問活動を引き続き行なっています。(ふれあい訪問事業：事業企画係、区社会福祉協議会)
- ♥ 障害児者介助等各種ボランティア養成講座を行っていきます。
- ♥ 企業の社会貢献についての相談窓口をしています。

「あったらいいな」

障害のある人でもパソコンなどで協力できる。もっと地域から声をかけて欲しいな。

ウォーキングやハイキングなどいろいろな世代と一緒にできるイベントが増えたらいいな。

特技はなくても、高齢者の家の電球を替えるなど、日常のちょっとしたことがボランティアになることを宣伝したい。

かめ太郎クイズ③

【問題】神奈川県では転入してくる人と転出する人、どちらが多いでしょう?

- ① 転入してくる人
- ② 転出する人
- ③ どちらも同じくらい

答え p19

かめ太郎クイズ④

【問題】神奈川県には105,803世帯が暮らしています(平成15年度)。そのうち一人暮らしの割合はどのくらいでしょう?

- ① 25%
- ② 10%
- ③ 45%

答え p19

地域の声

生活のルールは小さいときから身につけておくと大人になっても守りやすい



子ども会は小学生まで。中学生になったら地域の行事に参加する機会がなくなった

地域の「冒険遊び場」には高校生、大学生も来て、小さな子どもたちから「お兄さん」「お姉さん」と親しまれている



リタイアした人たちの知恵をもっと地域に活かしてもらえないか



地域の役員を担う人が高齢化している。交代したくても後継者がいない

障害のことをみんなに理解して欲しい。学校できちんと教えて欲しい



基本目標を達成するための「21の個別目標」

- 11 地域の中に、地域をまとめる人、相談できる人が育っています
12 次代を担う人がいろいろな活動に積極的に参加しています
13 みんなで教えあい学びあって、地域の生活文化が育まれています



▲六角橋地区懇談会の様子



▲地域の福祉まつり「ふれあって羽沢」

始めよう! みんなで第一歩

「取り組み紹介」

★…地域での取り組み ◆…区役所での取り組み

- ★ 若者がボランティア活動で高齢者と話し、昔のことなどを教えてもらっています。
★ 大学生のボランティアグループと地域の商店街が協力し合い、イベントを展開しています。
★ 小学校の授業に地域の人たちがたこ作りや昔遊びを教えに来てくれています。
★ 福祉保健センターで受けた健康診査の結果説明会をきっかけに、自分達で健康づくりについて学習する会が生まれています。
★ 介護予防のための教室に参加したメンバーが、教室終了後も継続して、学習したことを実践するグループ活動をしています。
★ 小学校で行なわれている高齢者とのふれあい給食会は、高齢者の参加希望者が多く、みんな楽しみにしています。
◆ 地区センターや地域ケアプラザで定期的に子育ての相談ができるように支援しています。(子育て支援者事業：子ども家庭支援担当)
◆ 食を通じて地域の中の健康づくりを進める食生活等改善推進員(ヘルスマイト)の養成講座を開催しています。修了後に地域での料理講座を開くなど、活動が展開しています。(食生活等改善推進員セミナー：健康づくり係)
◆ 地域ケアプラザを会場にして高齢者の介護予防のための講座を開催しています。(介護予防事業：高齢者支援担当)
◆ 地域の会場で講座を開催し、親子で食の大切さに触れられるように支援していきます。(食育普及事業：健康づくり係)
◆ 在宅介護支援センターの相談員の連絡会を開催し、相談の質を高めるための研修や情報交換を行っています。(みんなで進めよう、あんしんケア事業：高齢者支援担当)

「あったらいいな」

朝食を食べない子どもが増えている。食生活等改善推進員としてなにか力になりたい。
中学校の文化祭に地域の人を招くだけでなく、一緒に文化祭をつくれたらいいな。
中学生だって興味のある人はいるから、地域の中でボランティア募集などがあればいいな。
スポーツで大人と中学生の対抗試合をしてみたい。

かめ太郎クイズ5

【問題】神奈川県では介護保険の認定を受けている人は65歳以上の人のうちのどのくらいいるでしょうか?

- ①約7割 ②約2割 ③約5割

答え p20

かめ太郎クイズ6

【問題】障害のある方が製品を作り販売する障害者地域作業所等は区内に何か所あるでしょうか?

- ①15か所 ②18か所 ③24か所

答え p20

福祉保健などのサービスの情報がいつでも入手できるように蓄えられています。また、個人のプライバシーや人権への配慮をしつつ、利用しやすい情報伝達のしくみによって、手軽に気軽に情報が活かされるまちをつくりたい。

いつでも必要な情報が利用できます

地域の声



基本目標を達成するための「21の個別目標」

- 14 サービスを利用するための必要な情報が蓄えられています
- 15 だれもが利用しやすい情報伝達のしくみがあります
- 16 お互いの立場を尊重しながら情報が交換され、地域の課題が共有されています



▲神之木地区懇談会の様子

始めよう! みんなで第一歩

「取り組み紹介」

★…地域での取り組み ◆…区役所での取り組み ♥…区社会福祉協議会での取り組み

- ★ 子育て情報誌編集講座受講生が自分たちで取材、編集、印刷し、幼稚園についての情報誌を作りました。
- ★ ふれあい訪問（民生委員児童委員、保健活動推進員、友愛活動推進員、ボランティアからなるひとり暮らし高齢者等の訪問）では、介護の情報だけではなく、地域の防犯などの情報も伝えるようにしています。
- ★ ある地域では、地域情報を地域の人が集めて、「地区社協便り」として独自に編集し、地域内に配付しています。
- ★ ある地域では、子育て中の人や高齢者が利用できる地域のサービスや施設の情報を、それぞれまとめてパンフレットにし、地域の駅・商店・医療機関等、地域の人が手に入れやすい場所で配付しています。
- ★ 老人クラブで介護保険の研修を行なっている地域があります。
- ★ あるまちでは「地域支えあい連絡会」の広報紙を、その地域の各世帯に配布しています。
- ◆ 行政の情報や身近な地域の情報を盛り込んだ子育ての情報誌を、区民の皆さんと一緒に作ります。（子育て情報誌：子ども家庭支援担当）
- ◆ 区内、及び隣接区周辺の医療機関を、一覧と地図にして提供しています。（神奈川区 医療施設マップ：事業企画係）
- ◆ 食生活等改善推進員会との協働で、栄養バランスなどを考えたヘルシーメニューや健康体操などの情報を盛り込んだパンフレットをつくり、区民の健康づくりをサポートします。（区民健康づくり事業：健康づくり係）
- ◆ 介護保険の認定を受けた方が、ケアマネジャーの空き情報を探しやすいよう、ホームページや相談窓口で情報提供します。（ケアマネジャー空き情報：介護保険担当）
- ◆♥ 地域でもっと充実した生活を送れるように、地域の活動者や団体の代表と区役所等が集まり、その地域の課題と解決策を検討しています。（地域支えあい連絡会：地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、サービス課、福祉保健課）
- ♥ ボランティア情報誌の発行やボランティア掲示板で、ボランティアの募集やPRをしています。（区社会福祉協議会）

「あったらいいな」

地域の情報が学校で校内放送されたらいいな。

地域の中の施設・公園などみんなが使えるところをリストにして、わかりやすくできたらいいな。

若い人向けの地域の情報紙を、若者が中心になって作れないかな。（お年寄りとの交流はここでできるとか、バザーとか）

かめ太郎クイズ⑦

【問題】神奈川区では毎年健康診断を受けている人はどのくらいいるでしょう？

- ①18歳以上の7割
- ②18歳以上全員
- ③18歳以上の4割

【答え】p20

かめ太郎クイズ⑧

【問題】神奈川区民の健康状態の特徴としてあげられるものは次のうちどれでしょう？

- ①肥満の人が多い
- ②アルコールをたくさん飲む人が多い
- ③急性心筋梗塞で亡くなる人の割合が多い

【答え】p20

地域の声



基本目標を達成するための「21の個別目標」

- 17 必要な人が仲間と出会う機会があります
- 18 困ったときに身近に相談できる人や場所があります
- 19 地域の活動グループがお互いに連携しています
- 20 だれもが利用できる場所が確保されています
- 21 自分にあったサービスを選べます



▲町ぐるみ健康づくり(神西地区)

始めよう! みんなで**第一歩**

「取り組み紹介」

★…地域での取り組み ◆…区役所での取り組み

- ★ 日曜日に「おしゃべりの会」を開き、子育て中の親の息抜きや親同士の語らいを応援している保育園があります。
- ★ 食生活等改善推進員の協力で、「男の料理教室」が開催され、修了生が高齢者を招いて会食会を開催しているところがあります。
- ★ 「地域支えあい連絡会」でボランティア活動への要望について対象住民にアンケート調査をしたところがあります。
- ★ 地域ケアプラザでは、介護者のつどい、リハビリ教室、特定疾患(難病)の方の会、絵本の読み聞かせ会など、さまざまな事業を通じて仲間作りを進めています。
- ★ ある自主活動グループでは幼児の外遊びの会を開催しています。子ども達がいきいきと眼を輝かせて遊んでいます。
- ★ 「すくすく子がめ隊」は身近な会場で、地域の方たちが子育てを支える活動です。区内33会場で実施されています。
- ★ 地域の施設を利用した身近な場所での体操やウォーキングなどの健康づくり活動は、普段着のまま参加でき、その後の交流にもつながっています。
- ◆ 身近な場所で近所の人との健康づくりが気軽に楽しくできるような活動を支援しています。(町ぐるみ健康づくり事業：健康づくり係)
- ◆ 沢渡・三ツ沢に地域ケアプラザ、神大寺に法人型障害者地域活動ホームの建設計画を進めています。周辺地区の説明会や懇談会、イベントなどを通じて広くお知らせするとともに、利用しやすい施設づくりを目指しています。(障害者支援担当、事業企画係)
- ◆ 保育園の園庭開放を行ない、地域で子育てを見守る機会をより増やすための支援をしていきます。(保育園地域交流事業：保育担当、保育園)
- ◆ 地域への出張講座や広報などにより、安全な食品を食べられるよう、また、快適な生活環境を整えられるよう情報提供していきます。(食と住まいの安全確保：生活衛生課)
- ◆ 出会う機会の少ない病気の人同士、生活の工夫や相談ができるよう、講座や交流会を行なっています。出会いと安心を得るための支援を今後も行います。(難病講演会・交流会、生活教室：障害者支援担当)
- ◆ 初めての妊娠・出産・育児に備えるために、出産予定月の同じ人を対象に両親教室を行なっています。出産後に連絡を取り合ったり、相談したりできる仲間作りも支援しています。(両親教室：子ども家庭支援担当)

「あったらいいな」

「すくすく子がめ隊」は幼児まで。もっと広い年齢の子どものだまり場が地域にあったらいいな。
 地区ごとにボランティアの組織ができれば、小さなことは地区で解決していけるんじゃないかな。

かめ太郎クイズ⑨

【問題】神奈川区には地域防災拠点(地震等で家が倒壊し、住むところがなくなったときの避難生活を送る場所)はいくつあるでしょう? ①31か所 ②22か所 ③13か所 [答え p20]

かめ太郎クイズ⑩

【問題】神奈川区で登録されている犬の数はどのくらいでしょう? ①約10,000頭 ②約8,000頭 ③約5,000頭 [答え p20]

始めよう! みんなで第一歩

～計画の推進について～

「神奈川区地域福祉保健計画」は、将来にわたって、
神奈川区が「これからも住み続けたい神奈川区」であり続けるように、
地域福祉保健推進のしくみづくりについて考えてきました。

計画は、できあがったところから推進がスタートします。

「5つの基本目標」が、10年後、20年後に実現されているように、推進の第一歩を踏み出しましょう。

地域では…

神奈川区では、これまで御紹介してきたようなさまざまな地域での取り組みが、積極的に行われてきました。これらの取り組みが今後さらに広がっていくためには、地域のことを多くの人に知ってもらい、参加してくれる人、協力してくれる人が増えていくことが必要です。

隣近所で声をかけあったり、誘いあって活動に参加したりするところから、地域福祉が始まります。

「一人ひとりができることから始めよう」という意識を持って、この計画の目標に向かって何ができるか考え行動してみましょう。みんなが一歩ずつ前へ進めば、大きな第一歩になっていきます。

*地区懇談会で集まった多くの意見や、アンケートのデータなどを「神奈川区地域福祉保健計画 資料集」として作成しました。皆さんと課題を共有できるようにするとともに、新たな取り組みや現在行われている活動の参考にしてください。

また、アンケートや既存の健康に関するデータの分析を基に、神奈川区民の健康づくりの取り組みを提案するリーフレット「健康かながわ区21」を平成17年度春に作成します。地域での健康づくりにお役立てください。いずれも神奈川区役所、各地域ケアプラザ、神奈川区社会福祉協議会で配付します。

区役所では…

地域での取り組みがさらに発展し、着実に目標に向けて計画が推進されていくように、区役所では今後5年間で以下のとおり取り組んでいきます。

1 一人でも多くの人に計画を知ってもらい、参加してもらうために

計画をより多くの方にお知らせし、また、具体的な取り組みが積極的に展開されるよう、平成17年秋頃を目途に、計画についてさらにわかりやすくまとめた「神奈川区地域福祉保健計画普及版(仮)」を発行します。この中では具体的な地域の取り組みや活動を取り上げ、読んだ方が計画に興味を持ち、取り組みの第一歩を踏み出すことができるよう、実践紹介を中心とした内容を考えています。

また、常に計画の推進状況が区民の皆様に伝わるように、広報区版などを活用して、計画についての広報を行っています。

さらに、「かめ太郎出前トーク」を始め、地域に積極的に出向き、さまざまな機会を通じて、計画について多くの方にお知らせしていきます。

2 計画推進のしくみづくり

計画に基づく具体的な取り組み状況についての評価と振り返りを行い、今後の推進についての方針を定めていくために、福祉保健関係団体の代表により構成された「神奈川区福祉保健推進会議」で協議していきます。

区役所は、定期的に計画の推進状況についてこの会議に報告し、そこで協議された内容をもとに計画を推進していきます。

区役所の推進体制としては、区福祉保健センターを中心に区役所の他の部署の職員等も加わり、幅広く横断的な検討組織を構築します。これにより、事業の効率化を図ると共に、関係部署と密接に連携しながら、区民にとってわかりやすい事業展開を目指します。

また、身近な地域での支援体制やサービスが充実し、地域における福祉保健の拠点となるよう、地域ケアプラザとの連携を強化します。

現在、地域のさまざまな福祉保健活動を担っている方々や、福祉保健医療の専門家などで構成されている「地域支えあい連絡会」では、地域の生活課題を共有しながら、情報交換や課題検討を行っています。地域と区役所、関係機関が連携しながら、「神奈川区地域福祉保健計画」を推進していく組織のひとつとして、これからも大きな役割を担っていくことが期待されます。今後、区役所・区社会福祉協議会では、地域支えあい連絡会ごとの状況や取り組み内容に応じて、柔軟に支援できるよう、検討を進めていきます。

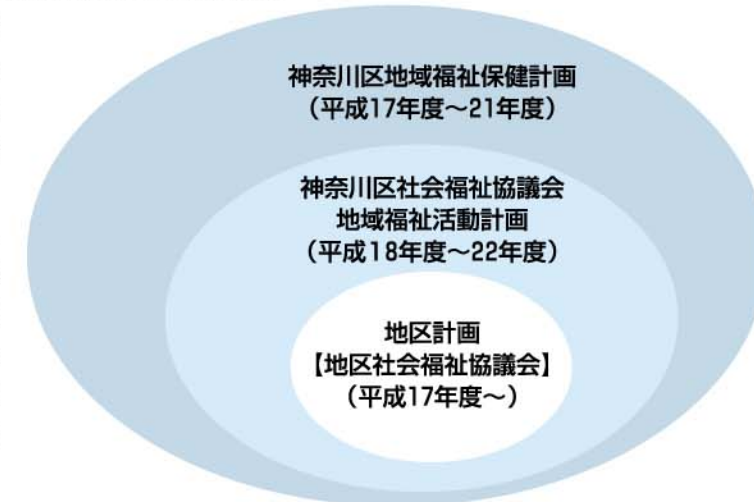
さらに、自治会・町内会の役員、民生委員児童委員、保健活動推進員、友愛活動推進員、食生活等改善推進員(ヘルスメイト)、区の医師会・歯科医師会・薬剤師会、老人クラブ、ボランティアグループ、その他福祉保健の場面で活動されている方々との連携を深め、協力し合いながら計画を推進していきます。

3 地域の実情に合った取り組みが広がっていくために

神奈川区には、さまざまな特徴を持った地域があり、それぞれに活動状況や課題も違います。区役所と区社会福祉協議会は、「神奈川区地域福祉保健計画」の地域における具体的な取り組みの一つとして、「地区社会福祉協議会ごとの計画(地区計画)」の策定支援を連携して行います。

この「地区社会福祉協議会ごとの計画(地区計画)」が実効性のあるものとなるよう、平成17年度から数地区でモデル策定を行い、平成18年度以降に各地区で展開していく予定です。

なお、神奈川区社会福祉協議会では、平成17年度中に、平成18年度から22年度までの5か年の「神奈川区地域福祉活動計画」の改定を行います。その中でも、地域の特性や課題に合わせた各地区社会福祉協議会活動への支援のありかたを盛り込んでいきます。



4 成長する計画

この計画は5年後の平成21年度に見直しを行います。基本目標の達成状況や、社会情勢の変化などにより、軌道修正も必要になるかもしれません。5年後の神奈川区はどのようなになっているでしょう…期待を持ってその日を迎えられるよう、ひとつずつ歩みを進めていきましょう。

かめ太郎クイズの答え

かめ太郎クイズ1 答え すべて

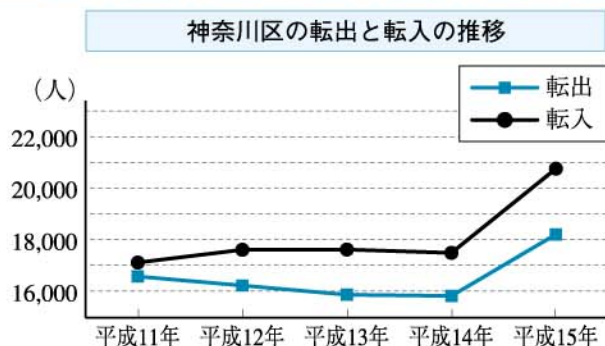
神奈川区の人口は平成16年3月31日現在218,833人。墨田区や、茅ヶ崎市、南太平洋のニューカレドニアという国ともほぼ同じ人口です。横浜市の人口は3,561,897人、神奈川区の人口は18区中の上から7番目です。

かめ太郎クイズ2 答え ③

神奈川区で生まれる赤ちゃんの数はここ数年、約2,000人です。神奈川区はこの子どもたちのふるさとなんです。いっぱいすてきな思い出を作ってください。

かめ太郎クイズ3 答え ①

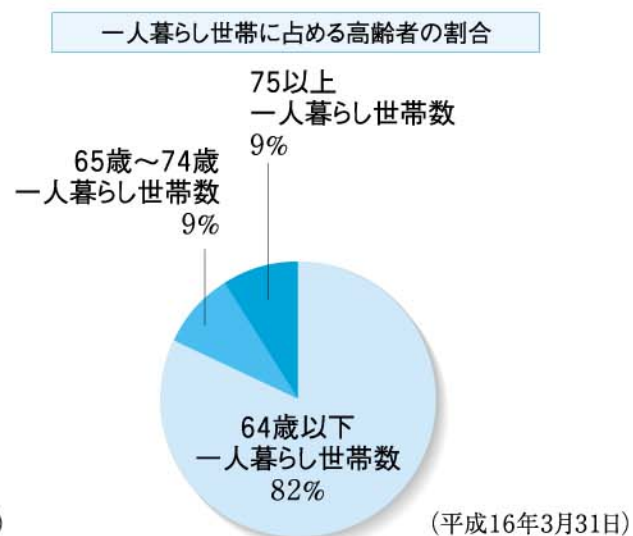
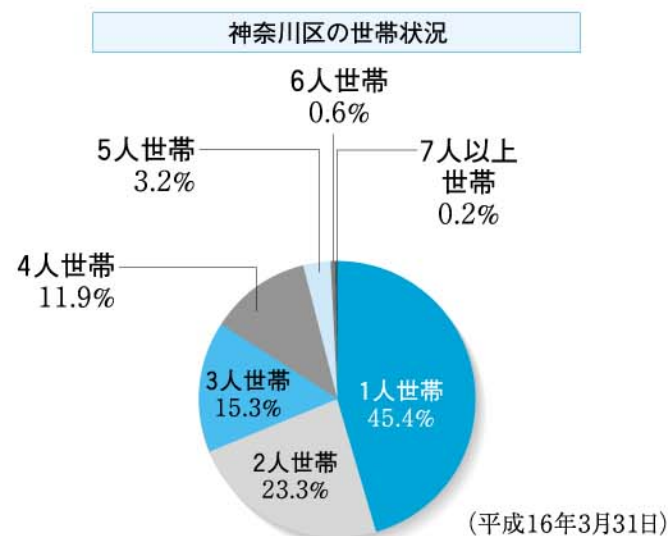
神奈川区では平成11年以降、転入者人口が転出者人口より多くなっています。転入してきた人も、前から住んでいた人も、みんな地域の一員です。住みやすいまちにするために、お互いにもっと知りあおう、教えあおう！



かめ太郎クイズ4 答え ③

神奈川区の全世帯約105,803世帯の45% (約47,500世帯) は一人暮らしで、その約2割の約9,500世帯が65歳以上の方の一人暮らしです。このデータは住民基本台帳によるもので、実際には同じ

家屋に単身者世帯と、その親族の世帯が住んでいる場合もあるので、そのまま実態を表してはみませんが、それを差し引いたとしても見逃せない数ですね。いざというとき、一人暮らしの方にとって頼りになる人は、近くにいるのでしょうか？



かめ太郎クイズ5 答え ②

神奈川区では65歳以上人口36,649人のうち、要介護認定を受けている人は5,686人で15.5%にあたります。横浜市は65歳以上人口556,153人のうち、要介護認定を

受けている人は83,034人で14.9%です。神奈川区の要介護認定率は横浜市全体と比較すると多いほうですね。また、横浜市がまとめた要介護認定を受けた人の年齢別割合を見ると、高齢になるほど介護を必要とする人が増えています。



かめ太郎クイズ6 答え ②

神奈川区には身体障害者・知的障害者地域作業所12か所(市135か所、泉・中・保土ヶ谷・旭に次ぐ数)、精神障害者地域作業所5か所(市58か所。市内で最も多数です。)、中途障害者活動センター1か所(市18か所)

の計18か所があります。クッキーやパウンドケーキ、はた織で作った鮮やかな色の小物、革細工、和紙工芸などの製品を作っています。区役所に製品の一部は展示し、クッキーは区役所売店でも販売しています。ぜひお試しください。おいしいよ。

かめ太郎クイズ7 答え ①

無作為抽出された18歳以上の区民3,000人に対する区民意識調査の結果では、毎年健康診断を受けている人は回答者の69%でした。受けていないと答えた3割の人の健康状態が気になります。あなたは受けていますか？

かめ太郎クイズ8 答え すべて

住民基本健診を受けた人の結果から、神奈川区は横浜市よりも肥満(BMI 25以上)の人の割合が多いことがわかりました。また、区民意識調査の結果ではアルコールの摂取量の多い人が国の平均を上回っていました。神奈川区民の死亡原因を見ると、急性心筋梗塞による死亡割合が全国より高いことがわかりました。健康に気をつけていますか？体もいたわってあげましょう。

BMIとは…肥満度を表す指数で、「体重kg÷身長m÷身長m」であらわされ、18.5未満はやせ、18.5以上25.0未満が標準、25.0以上30.0未満が過体重、30.0以上が肥満とされています。
例) 身長160cm 体重62kgの人の場合
体重62kg÷身長1.6m÷身長1.6m=24.2 標準でした。

かめ太郎クイズ9 答え ②

あなたの地域防災拠点はどこかご存知ですか？「神奈川区防災マップ」(区役所総務課発行)で確認しておきましょう。(必要な方には区役所総務課で配付しています。)

かめ太郎クイズ10 答え ②

神奈川区では7,652頭(平成15年度)の犬が登録されています。平成11年度には6,335頭だったので、4年で1.2倍に増えています。犬を飼っている人も飼っていない人も気持ちよく生活できるよう、マナーは守りたいですね。

かめ太郎クイズ、どのくらいできましたか？このクイズは主に区役所総務課発行「わがまちかながわ2004-2005」から出題しました。他にもいろんなデータが載っているから見てみてね。(必要な方には区役所総務課で配付しています。)



策定委員紹介

| 氏名 | 団体名等 |
|--------|---------------------------|
| 阿野田 勇 | 菅田地域ケアプラザ所長 |
| 石渡 和実 | 東洋英和女学院大学人間科学部人間福祉学科教授 |
| 伊東 満 | 神奈川県連合町内会自治会連絡協議会会長 |
| 上野 宗男 | 公募委員 |
| 大西 基之 | (前)神奈川県社会福祉協議会会長 |
| 神田 光枝 | 公募委員 |
| 古賀 伸子 | 神奈川県福祉保健センター長 |
| 小西 一三 | 神奈川県民生委員児童委員協議会会長 |
| 下村 旭 | 公募委員 |
| 高木 保夫 | 神奈川県心身障害者団体連絡会会長 |
| 田中 政一 | 神奈川県保健活動推進委員会会長 |
| 中原 和重 | 公募委員 |
| 百武 久子 | 神奈川県ボランティアグループ連絡会会長 |
| 堀 有孝 | 神奈川県福祉保健センター担当部長 |
| 堀内 久仁江 | 神奈川県医師会会長 |
| 堀川 善治 | (前)神奈川県民生委員児童委員協議会会長 |
| 前原 郁子 | 神奈川県食生活等改善推進委員会(ヘルスメイト)会長 |
| 南山 葉子 | 公募委員 |
| 山根 誠 | 親がめ会議会長 |
| 渡邊 和彦 | 神奈川県社会福祉協議会会長 |

五十音順 敬称略



地域ケアプラザで行っている支えあい連絡会で、いろいろな提案・要望があります。今回の地域福祉保健計画では、町内で声をかけたことのない人とのコミュニケーションがとれるようになったり、地域活動に関心を持ち、進んで参加してくれる人が、こんなにも大勢いたことを知りました。

(阿野田委員)

個人情報の保護に関する法律の施行に伴い、プライバシーや人権への配慮で、地域として一番困るのは災害時の対応です。町の代表者だけでも、世帯の数及び高齢者の把握ができればよいと思っています。

(伊東委員)

さまざまな個性を持ち、いろいろな立場にあるすべての区民がいきいきと輝き続けられる…そんな神奈川県をこの計画をきっかけに築き上げていきたいと思っています!!

(石渡委員)

私たち食生活等改善推進委員会は「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、地域の人たちとのふれあいを深めながら子どもから高齢者までの方を対象に活動をしています。

皆様も是非仲間になり一緒に「健康寿命」を延ばしていきませんか?

(前原委員)

私は、将来自分が受けたい福祉サービスを自分で作ろうという仲間とデイサービスやグループホームを作り働いてきました。その視点からこの計画策定に参加し、やはり自分が欲しい暮らしは自分たちでつくる以外に実現しないと改めて感じました。

(南山委員)

まちで活動している皆さん、交流を持ち、より豊かな地域づくりに前進いたしましょう。隣近所、より「一声ふれあい」の心を出しましょう。みんなのゆとりある生活につながります。この計画を少しずつ実行に移してください。継続は力なりと言います。みんなで心が開きます。

(田中委員)

計画の策定に楽しく参加させていただきました。また、策定過程を通じ福祉保健を中心としたさまざまな分野の現状や課題を学ぶことができました。私たちのまち「かながわ」をより住みやすくしていくために、この計画をみんなで育むことができればと思います。

(下村委員)

高度経済成長がすでに終わり、安定成長の時代となり、そこに少子高齢化が進み、福祉の向上にも限界が感じられます。行政の役割にも限界があるでしょう。弱者救済は当然ですが、今後は一人ひとりが自立できるよう、互いに知恵を出し合い、補い合い、励ましあい、自助努力しながら福祉や健康の向上に努め、住みよいまちづくりをめざし実行していきたい。

(小西委員)

40年前の今頃は神奈川県内の小学校の器楽クラブで合奏の練習をしていた。終わると友達大勢と一緒に、暗くなるまで空き地で野球をした。近所のおじさんから「静かにしろ!」としかられた。中学生時代はバスケットボールをした。高校も家の近くだった。そんな幼馴染と大学時代に再会した。神奈川県に生まれ育ち、20年後もそんな良い神奈川県に住んでいたいな~!!なんて思って策定委員をやってみました。次はあなた…がやって欲しいな^^と思っています。

(上野委員)

このたび計画がまとまりました。この作業を通して「福祉」の間口は広く、奥行きも深いものだと感心させられました。この計画により神奈川県のあるべき将来像が見えたようにも考えます。区社会福祉協議会と区役所の連携の中で、地域福祉の推進が積極的に取り組まれることを期待いたします

(渡邊委員)

「協働」を本物にしていくために! すてきな計画は出来たけれど、これを絵に描いた餅に終わらせないために…

「行政にこうして欲しい」から、「私たち住民がこうありたい、ここまでできる」に変えていくことだと思います。

(山根委員)

この地域福祉保健計画は、区役所と地域の皆さんが膝を交えて話し合っつくり出した共同作品だと思います。この先、計画の目標となりました、健やかで互いに支えあう、安心で元気な神奈川県をのまちづくりを皆さんと力を合わせて進めていきたいと思っています。

(堀委員)

計画策定にあたり、地域の皆さんの声をたくさん聴くことができました。また、策定委員会でも有意義な議論が交わされました。これらの経験は区役所にとって貴重な財産です。これからもみんなでもっと魅力のある神奈川県にしていきたいと思います。

(古賀委員)



神奈川県福祉保健計画策定事務局

神奈川県福祉保健センター福祉保健課(事業企画係、健康づくり係)、神奈川県社会福祉協議会、(株)地域環境計画